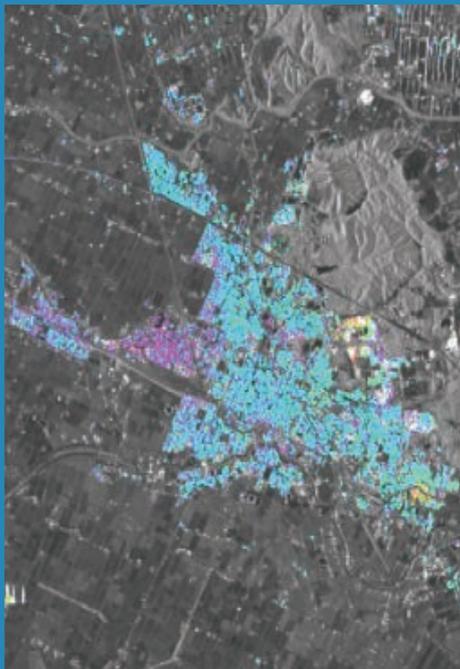


人工衛星搭載の合成開口レーダを活用して地表面の微小な変位を計測するための新しいサービス「**地表面変位計測サービス (RISE : RESTEC Interferometry SErvice)**」の提供を開始します。

変位の有無、箇所を知りたい

スクリーニングプラン

ニーズに合わせて地表面変位を確認します

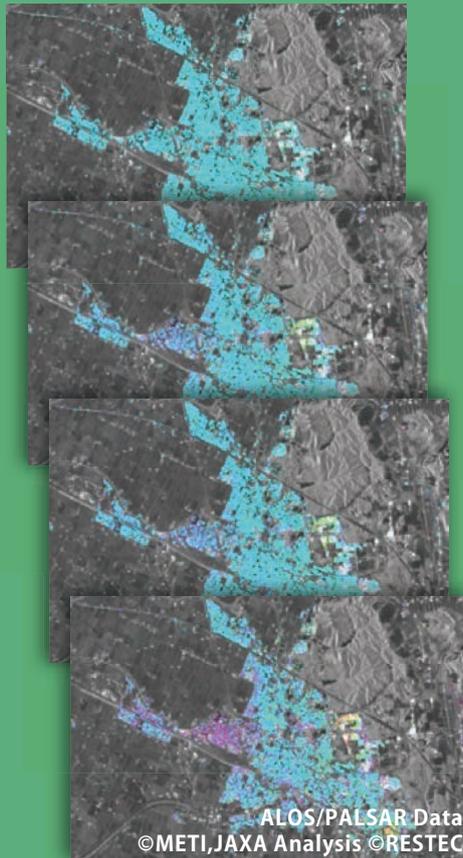


ALOS/PALSAR Data
©METI, JAXA Analysis ©RESTEC

変位の進行・動態を計測したい

モニタリングプラン4

4 時期を計測します

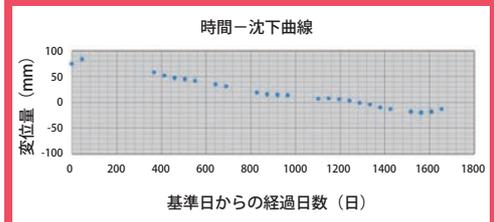
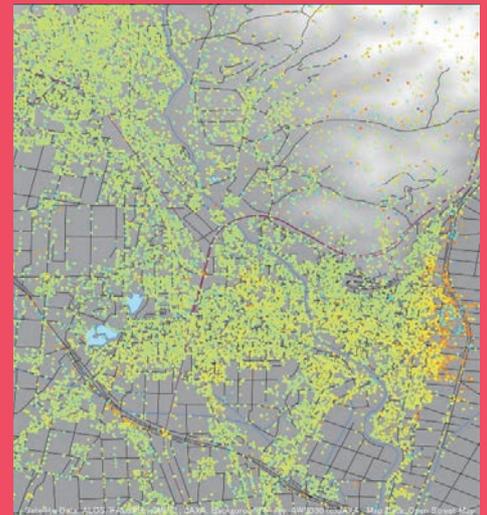


ALOS/PALSAR Data
©METI, JAXA Analysis ©RESTEC

より詳細に、高精度に変位の進行・動態を計測したい

モニタリングプラン12

時系列且つ詳細に計測します



RISEはこれらの課題を解決し、高精度且つ広域に地表面の変位を計測した結果をGISデータとしてお客様に提供いたします。

- ・今まで困難であった広域な地表面変位の把握
- ・他の手段では困難な長期間にわたる地表面変位の把握
- ・過去に遡った地表面変位の把握
- ・地表面変位の要因（人為的活動か自然によるものか）の把握

地表面変位計測サービス (RISE) の詳しい情報はここから



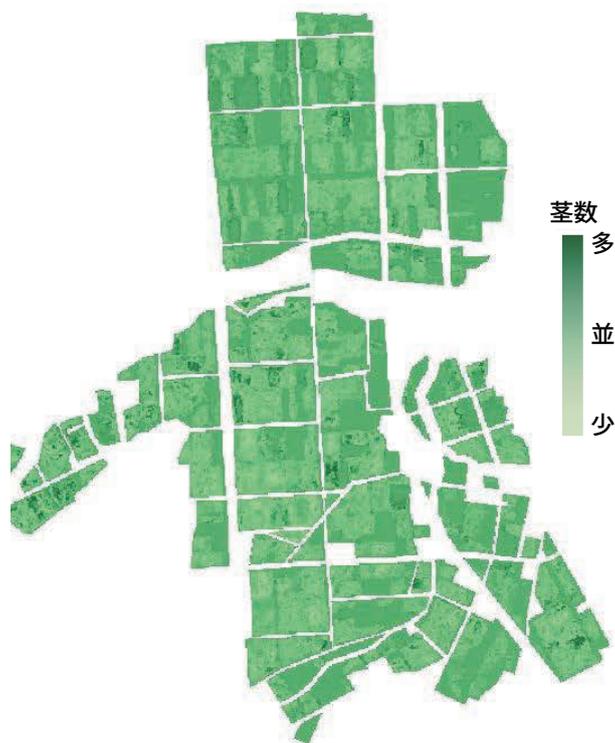
お問合せ：サポート窓口 (data@restec.or.jp)

■ スマート農業のための RESTEC 営農支援システムの開発

スマート農業の実現のために、農林水産省をはじめ、産官学が一体となって取り組んでいます。RESTECでは、長年培ってきた衛星解析技術に、生産者の知見を融合させ、多収・高品質な生産を支援する営農支援システムを開発しています。農作物は日ごとに生長するため、生産者は速やかに対応する必要があります。このシステムは、近年観測体制が整ってきた最新の超小型衛星をはじめ、特殊センサとドローンを組み合わせた観測システムに、クラウド技術を融合させることにより、独自に集めた現場の営農技術とともに、生産者に役立つ情報を迅速に配信するシステムです。今後、このシステムを社会実装していくことにより、スマート農業の実現に貢献して参ります。



穂肥のための茎数診断



現地で計測した茎数と超小型衛星のデータから茎数を診断した例です。水田ごとの茎数の違いだけでなく、水田内のばらつきも確認することができます。

■ Google Earth Engine を用いたリモートセンシング講座について

今年度から新たに開講された「Google Earth Engineを用いたリモートセンシング講座」は毎回多くの方々にご参加頂いており、そのご期待に応えるため研修課および講師一同、最先端での活用状況をご紹介すべく日々努めております。その一環として、6月中旬にGoogle Europe HQにて開催されたGoogle Earth Engine User Summitに参加致しました。

世界各国から集結したエンジニア達と最前線での活用状況や互いの連絡先をシェアしたり、GEE開発者にアイデアや疑問をぶついたり、連日熱いディスカッションが繰り広げられました。Summitで得られた最前線でのリモートセンシング利活用方法等は、当該技術研修にも随時反映しております。研修を含め、リモートセンシング技術の利活用によるソリューション提供が皆様の課題解決へのカギとなるよう、財団職員一同取り組んで参ります。



■ 編集後記 RESTECはRISE、営農支援システムやリモートセンシング技術研修など多様なソリューションで皆様の事業に貢献できるよう日々努力しております。今回ご紹介出来なかったサービスなどは当財団のホームページやFacebookで紹介していますので是非ご覧ください。RESTECが皆様のお力になります!!



ホームページ



Facebook